

令和6年度広域防災拠点（物資）運営訓練を実施します

大規模災害時において、国等から大量に輸送される救援物資を避難所に円滑に輸送することを目的に、県広域防災拠点における救援物資の搬出入、仕分け及び管理、輸送のオペレーションを確認する訓練を実施します。

なお今回は、初めて市町村（海南市）と連携し、市町村の地域内輸送拠点、指定避難所を開設し、救援物資を避難所まで輸送します。

1 開催日時

令和7年2月6日（木） 8時00分～16時30分

2 訓練開催場所

県広域物資拠点：8:00～12:00 和歌山ビッグホエール（和歌山市手平2丁目1-1）

燃料給油：12:00～13:00 海草振興局建設部（和歌山市森小手穂227）

地域内輸送拠点：14:00～15:00 (株)サンコー物流センター（海南市阪井1755-1）

開設避難所：15:20～16:30 和歌山県立海南高等学校（海南市大野中651）

※訓練時間は予定であるため変動の可能性あり

※一般観覧は不可

3 訓練想定：南海トラフ地震（東海・東南海・南海3連動地震）

2月5日午前7時、南海トラフ地震が発生し、本県においてM8.7を観測。県内全域において避難所が開設されていることから、国は和歌山県の要請を待たずにプッシュ型支援を決定

4 参加機関(予定)

13機関 約220人参加 ※順不同

和歌山県（危機管理部、福祉保健部、海草・那賀振興局）、海南市、和歌山県立海南高等学校、公益社団法人和歌山県トラック協会、和歌山県倉庫協会、一般社団法人AZ-COM丸和・支援ネットワーク、トヨタL&F和歌山株式会社、トヨタモビリティパーツ株式会社和歌山営業所、和歌山県石油商業組合、横田瀝青興業株式会社、和歌山県生活協同組合連合会、わかやま市民生活協同組合、株式会社オークワ、その他協力機関

〈過去の訓練風景〉



(連絡先)

危機管理部危機管理局災害対策課

担当：納屋、野口、花田

電話：073-441-2262

内線：2262

令和6年度広域防災拠点（物資）運営訓練について

1 訓練の目的

大規模災害時における救援物資の円滑供給に向けて対応を確認するとともに、職員の対処能力の向上と事務の円滑化を図る。

2 訓練の概要

和歌山ビッグホエールにおいて実際に広域物資輸送拠点を開設し、和歌山県倉庫協会及び和歌山県トラック協会の指導に基づき、国プッシュ型で輸送された救援物資、県内の協定企業から提供された流通備蓄物資の受け入れ、仕分けを行うとともに、海南市物資集積拠点まで輸送を実施する。また、海南市において市町村物資集積拠点及び避難所を開設し、県から輸送される物資を受け入れ、避難所まで物資を輸送する。

和歌山県南別館及び海草振興局においては、県災害対策本部（支部）を設置し、国のプッシュ型支援決定、市町村からの救援物資供給要請に基づいて関係機関等と連携し、物資の調達及び供給に係る調整等の訓練を実施する。

3 訓練実施日時

令和7年2月6日（木）7:15～16:30

※2月5日（水）に事前準備を実施

4 訓練実施場所

県広域物資拠点：和歌山ビッグホエール

海南市物資集積拠点：サンコー物流センター倉庫

海南市開設避難所：和歌山県立海南高等学校

どこでもスタンド開設：海草振興局建設部

5 訓練参加機関

13機関 220名

和歌山県（危機管理部、福祉保健部、海草・那賀振興局）、海南市、和歌山県立海南高等学校、和歌山県倉庫協会、公益社団法人和歌山県トラック協会、一般社団法人 AZ-COM 丸和・支援ネットワーク、トヨタL&F和歌山株式会社、トヨタモビリティパーツ株式会社和歌山営業所、和歌山県石油商業組合、横田瀝青興業株式会社、和歌山県生活協同組合連合会、わかやま市民生活協同組合、株式会社オークワ、その他協力機関

6 訓練想定

2月5日午前7時、南海トラフ地震が発生し、本県においてM8.7を観測。県内全域において避難所が開設されていることから、国は和歌山県の要請を待たずにプッシュ型支援を決定

7 訓練内容

(1) 2月5日（水）

①那賀振興局

ア 備蓄物資の搬出

(2) 2月6日（木）

①広域防災拠点（和歌山ビッグホエール）

ア 広域防災拠点要員等の参集

イ 和歌山県広域物資拠点の開設・運営

ウ 救援物資の受入・仕分け・払出

エ 物資調達・輸送調整等支援システムによる県災害対策本部との情報伝達

オ 防災行政無線、衛星可搬局（ラスコム）、スターリンクの設置及び通信

カ 協定企業及びトラック協会による救援物資輸送

- キ 倉庫協会による広域防災拠点における救援物資搬入・搬出
- ク フォークリフト搬出・搬入
- ケ フォークリフトへの燃料供給
- コ どこでもスタンドの開設、車両への供給

②燃料給油

- ア 「どこでもスタンド」の開設
- イ トラックへの給油

③海南市物資集積拠点

- ア 物資調達・輸送調整等支援システムによる県災害対策本部総合統制室への情報伝達
- イ 防災電話等による県災害対策本部総合統制室との連絡調整
- ウ 市町村物資集積拠点の開設
- エ 救援物資の受入・仕分け・払出

④海南市開設避難所

- ア 避難所の開設、運営
- イ 物資ドローンによる物資提供
- ウ 電気自動車による電気供給

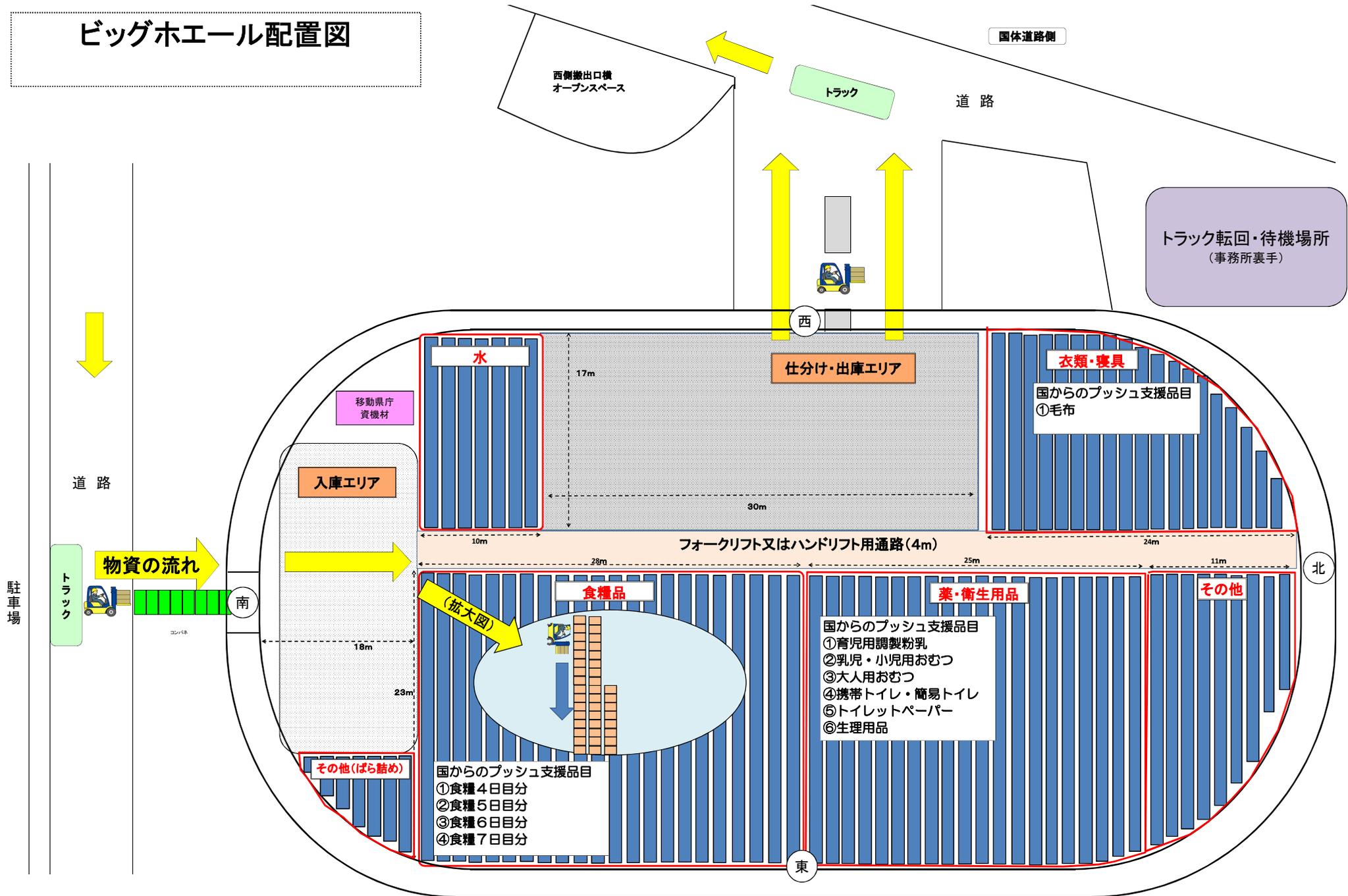
搬出物資一覧【那賀振興局（国プッシュ型）⇒県ビッグホエール】

積載トラック	パレット	品目	総量	1箱数量	箱数	箱サイズ(mm)	パレット積載の形
トラックA	①	アルファ化米（炊き出し用）	1,800 食	50 食	36	330×330×190	9箱×4段
	②	アルファ化米（個食・お粥）	1,600 食	50 食	32	420×310×180	8箱×4段
	③	パン（缶詰入り）	576 食	24 食	24	480×350×130	6箱×4段
	④	保存水（2L）	576 本	6 本	96	320×190×320	16箱×3段
	⑤						16箱×3段
	⑥	粉ミルク（800g/缶）	64 缶	8 缶	8	540×270×170	段ボール8箱
トラックB	①	トイレ（携帯用）	3,600 回分	100 回分	36	230×330×200	12箱×3段
	②	紙コップ	2,000 個	500 個	4	400×300×260	段ボール4箱
	③	毛布	540 枚	10 枚	54	340×470×420	6箱×3段
	④						6箱×3段
	⑤						6箱×3段
	⑥	こども用おむつ（M寸）	208 枚	208 枚	1	510×290×410	段ボール1箱
大人用おむつ（M寸）		60 枚	60 枚	1	550×360×410	段ボール1箱	
トラックC	①	毛布	540 枚	10 枚	54	750×530×230	8箱×1段
	②						8箱×1段
	③						8箱×1段
	④						8箱×1段 + 2箱
	⑤						8箱×1段 + 2箱
	⑥						8箱×1段 + 2箱

搬出物資一覧【県ビッグホエール⇒サンコー物流】

積載トラック	パレット	品目	総量	1箱数量	箱数	箱サイズ(mm)	パレット積載の形	
トラックA	①	アルファ化米（炊き出し用）	900 食	50 食	18	330×330×190		
		アルファ化米（個食・お粥）	800 食	50 食	16	420×310×180		
	②	パン（缶詰入り）	288 食	24 食	12	480×350×130		
		粉ミルク（800g/缶）	64 缶	8 缶	8	540×270×170		
	③	保存水（2L）	288 本	6 本	48	320×190×320		
		紙コップ	1,000 個	500 個	2	400×300×260		
	④	トイレ（携帯用）	1,800 回分	100 回分	18	230×330×200		
		こども用おむつ（M寸）	256 枚	256 枚	1	510×290×410		
		大人用おむつ（M寸）	60 枚	60 枚	1	550×360×410		
	⑤	毛布		360 枚	10 枚	36	340×470×420	
	⑥							

ビッグホエール配置図



緊急時用給油機「どこでもスタンド」 イメージ





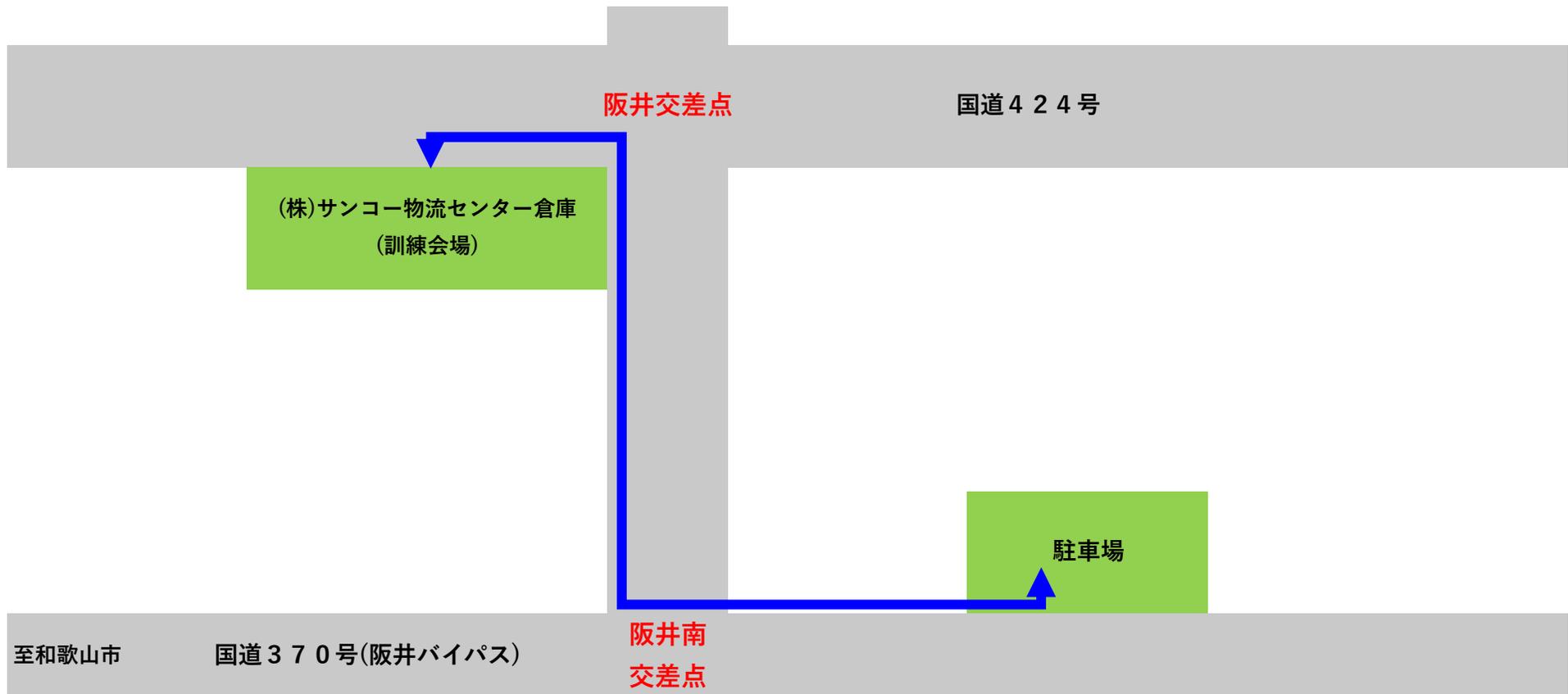
「どこでもスタンド」開設・運営訓練駐車場



令和 6 年度広域防災拠点（物資）運営訓練 会場案内図

①(株)サンコー物流センター倉庫

- ・サンコー物流センター倉庫には駐車場がないので、下記駐車場をご利用ください。
- ・国道 370 号(阪井バイパス)の阪井南交差点の東側に駐車場(空き地)から徒歩5分で訓練会場に到着(青動線)



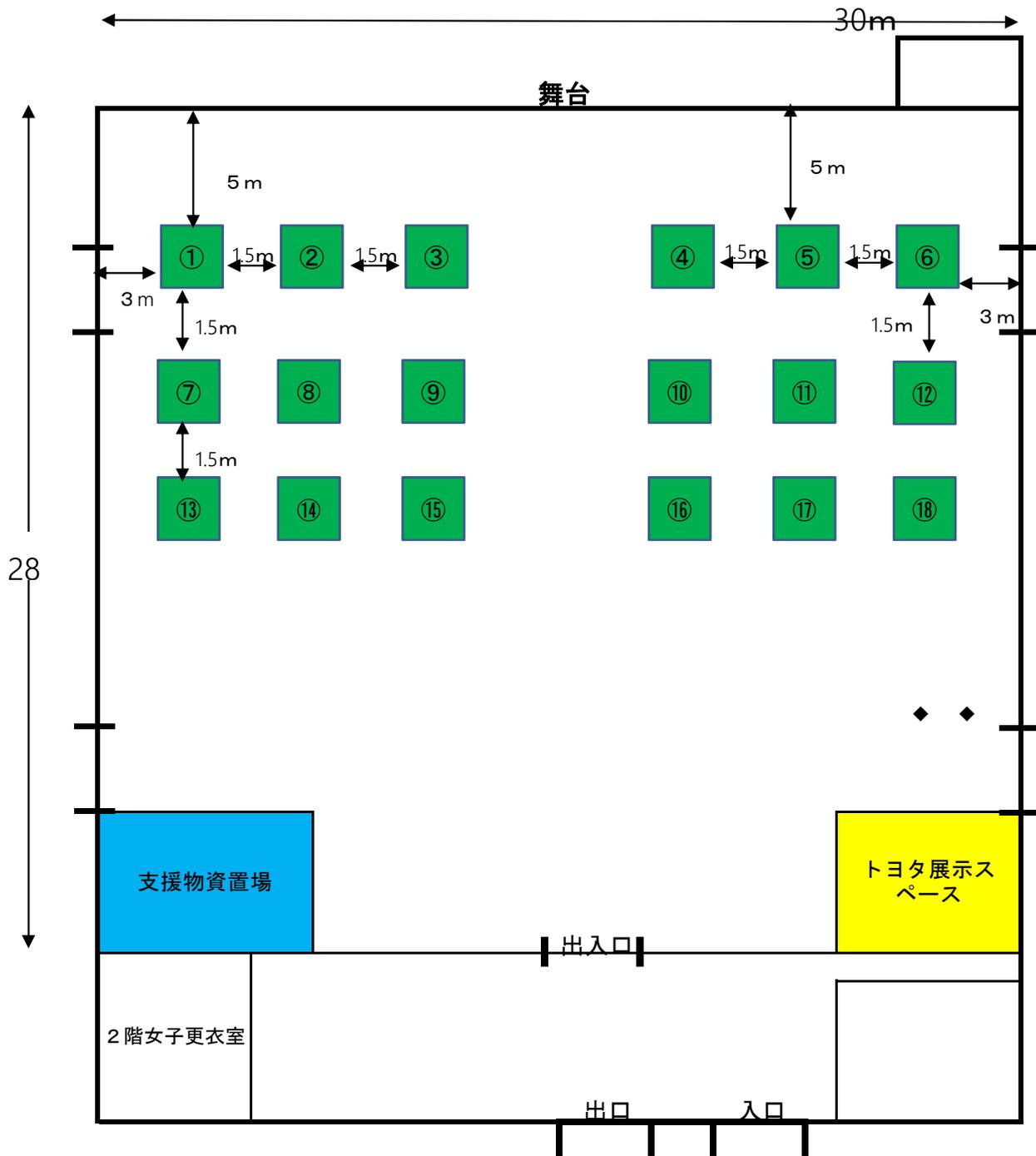
令和6年度広域防災拠点（物資）運営訓練 会場案内図

②和歌山県立海南高等学校

- ・海南高等学校には駐車場がないので、海南市市民球場北側の駐車場をご利用ください。
- ・サンコー物流センター駐車場から国道370号線を和歌山市向きに進む。
- ・幡川交差点右折→1つ目の信号左折→1つ目の信号右折→駐車場に到着。（黄色動線）
- ・駐車場から徒歩5分で海南高校に到着。（青動線）

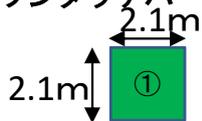


県立海南高校レイアウト(体育館)



◆投光器2台、延長コード

■ワンタッチパーティション



- ①～⑩ワンタッチパーティション
- ①～⑥段ボールベッド6台
- ⑦～⑩簡易ベッド12台

県立海南高校レイアウト(グラウンド)

